

# ことば塾W O R T E

ニュースレター NO.41 2016 冬号 FREE



言語造形人間学 人は「あ」から全てを学ぶ・・・1 ページ  
気質は何のため？・・・4 ページ  
泣かないで、お母さん！・・・5 ページ  
言語造形人間学 風邪をひきづらくなる音・・・6 ページ  
一年を振り返る・・・7 ページ  
ヴォルテニュース・・・8 ページ

こ と ば 塾 W O R T E と は  
言語造形をベースに大人がことばを学び直す場所です。話し方や声の響き、人間関係も変わる場所です。お話、演劇、詩の三つのことばの世界を上りながら学ぶレッスン体系と日本語による100を超える言語造形練習文を2本柱にストーリーテラーを育成しています。主宰の恵矢は独、ハンガリー、日本で、20年にわたり延べ1650名以上をレッスン

## 言語造形人間学 人はすべてを「あ」から学ぶ

このコーナーでは皆さんと一緒に音を見ていきます。言語造形にドイツで出会ってから27年、レッスンするようになってから20年になります。そのなかで体験したことはもちろん、シュタイナーがその音について言ったことを交えながらお伝えしていきます。

### ドイツ語は大事ですか？

英語だとエーですがドイツ語だとアーと発音します。シュタイナーが話して書いた言語がドイツ語だったこともあり、アントロポゾフィ関連ではドイツ語が頻繁に出てきます。

さっそく脱線しますね。大昔のこと、スイスで言語造形を学んでいたとき、ゲーテアヌムのツーリストインフォメーションにあたる西口玄関デスクでアルバイトをしていました。ドルナッハのアントロポゾフィ協会事務所の事務員の男の人がファックスを片手に現れました。この人も外見からしておもしろい人で、シャツシャツシャツと素早くかっこよく歩くんですけど、そんな感じでゲーテアヌムの玄関ホールを横切ってきて私を見ると、いきなり「これって日本語だよ？なんて書いてあるの？」と言いました。ある英語圏の国の協会からだというのに、日本語でした。外国の人が書くカクカクした日本語です。ちょっとぎょっとしました。

ファックスには「アントロポゾフィのムーブメント内でドイツ語が首位だが、どの言語にもチャンスが必要ではないか」とありました。皮肉というか恨みが効きすぎて、若干日本語としては無理とミスのある文章で書いてありました。「わかった、ありがと」と事務の50代後半の男性は去って行きました。よくあることらしいです。

この時まで知らなかったのですが、英語圏のグループには「世界の共通言語は英語なのに。なんでドイツ語なんてマイナーな言語がここで幅をきかせてるんだ!？」と不服に思う人もいるようなのです。

私はこんな風に考えています。日本語圏内に生まれると、世界の共通言語ではないとわかっている。日本語は日本でしか話す人のいない言語、マイナー言語と最初からわかっているのです。そのような毒々しい気持ちを抱く機会がほとんどありません。私個人にとってよかったなあと思います。もしも英語圏に生まれたら、そんな気持ちにならないとは言い切れないですね。

私自身はドイツ現代文学を翻訳する仕事もしており、ドイツ語で詩も書いているのでドイツ語は大好きですが、言語造形家・詩人として、ドイツ語ができるからってなにも意味はないと思っています。「ドイツではね」という人を見かけましたが、違和感を覚えました。私は何語ができるからすごいというよりも、言語を平らに見ていきたいと考えています。

### 要素としての共通言語

その時に大事にしていることがあります。私たちの共通言語はなにか？ということです。実は何語という言語としてではなく、どちらかという要素として二つあると思うんです。

1つは心の芯、ハート。意図と言い換えても構いません。心の芯から、相手に対してどんな振る舞いをしているのか？振る舞いとしての言語。実は WORTE のレッスンの根幹はこれです。

振る舞いの「舞い」は目には見えませんが、ふだん、無意識に感じ取っています。

シュタイナーは言語造形を「ふだんは無意識にしていることを、意識的にすること」と簡潔に述べています。「身振りが声になって、空間に消えていくのを聴きなさい」と。

WORTE では体にある意識のことを球形と呼んでいます。いわば、球形の動きが振る舞いの舞いなのです。球形を感じられるようになり、さらには自分の球形を使ってお話を伝えるよう訓練しています。

もう一つは音。普段あまり考えませんが、言葉を形成するものは音です。絵画を形成するものが色であるのと同じです。言語によってある音とない音もあります。日本語という言葉にも、音の特徴があります。わたしが比較する程度に出来る言語がドイツ語だけなのでドイツ語と比べての話ですが、日本語に現れる特徴と日本語を母語とする人が持っている特徴は呼応しているのではないかと思います。日本語の中にだけ生きていると、無意識なので、そういう意味では外国語ができる面白いと思います。

### 「あ」の音 シュタイナーはなんとやっている？

「A」(あ)に戻ります。日本語には「あ、い、う、え、お」の5つの母音があり、「A」(あ)はその中で口を一番大きく開けて話す母音です。

シュタイナーがこの音について語った言葉を今日は二つご紹介します。

一つ目は「人はAからすべてを学ぶ」です。恩師の奥様も言語造形家で奥様が「あなたに個人レッスンしてあげるからいらっしゃい！」と、とつぜん言われ「はい」とお答えして、していただいたレッスンのなかで初めて耳にしました。「え？」衝撃を受けました。

言語造形練習文をしても、気質によって音の動きに独特の癖があります。例えば憂鬱質の人はたいてい音が全部、下に行きます。すぐに上を向きがちです。まるで理想を見つめるかのようです。

胆汁の人は力が入りすぎて、声帯も硬くなります。体の動きもかなり早く火花が散るように乱暴です。多血の人は放っておくと「。」なしでずっと話し続けますし、確かに話題はポンポンと楽しく弾んでずれていきます。粘液の人は床にフレアースカートのように広がっていき、動かなくなります。紙面ではお伝えしづらいですが、レッスンで「こうなってますよ」と指摘するとすぐにわかります。

そういったすべてのいろいろなものを現してしまう。それが「あ」ではないか。それでも「あ」を稽古しているうちに、調整されていく。それが「あ」ではないか。そのことをシュタイナーは「人はすべてを『あ』から学ぶ」と言ったのではないかと感じます。このフレーズを後日、本の中で見つけたときは嬉しかったです。

二つ目は「両あごがはずれそうになるほど大きく開いて音を出す。これがAです」

こちらはシュタイナーが言語造形のレッスンで、ある生徒さんに注意したものです。口を開けない人に対してのコメントだったのではないかと思いますので、そのまま実行しなくてもいいと思います。言語造形のレッスンは一人一人に行うので、ほかの人へのコメントをそのまま自分に当てはめても意味がありません。けれどもほかの人へのコメントもきちんと聞いて考えていくと、その人について、あるいは音やことばについて少しずつわかっていきます。ここで何が大切かというと、やっぱりこの母音は大きく口を開く音だということ

です。実はこの母音は簡単ではありません。そもそも母音は難しいです。というのも母音には二つの姿勢が関係しているからです。目に見える姿勢と目に見えない姿勢です。立ち方や体の重心といった目に見える姿勢と、目に見えない姿勢にはいろいろあって難しいですが、ここではものごとをいつも批判的に見るとか、オープンな態度をとっているけれど本当は怖がりとか、そういったレベルのことを考えていきたいと思います。

### 口を開くことの意味

口を大きく開くことは人を無防備にします。そんな状態で声を出す。それがこの母音の発音です。開ける。出す。二つの相反する大きな動作をせよ！そういう母音です。だから難しいのですね。どこかに力が入って唇や姿勢がゆがんだり、声の通り道がゆがんだり、重心が落ちたり上がったり、人によって実にいろいろなゆがみが出てきます。普段は意識しないような人生への根本的な姿勢に、不安や恐怖、用心深さなどが混ざっている場合、口を大きく開けないという形でここに現れることがあります。

ではただ素直に大きく開ければいいのでしょうか？ そうではありません。口を大きく開けるのが苦手の方がいらっしゃるように、やりすぎの方がいます。「どうでもいいや」と自分を捨てさるようにゆだねる方です。そうすると重心が必要以上に落ち、それは「あ」の母音に表れます。自分を捨てられる力はすごいのですが、捨てたとしても消化したわけではないので、そこには捨てた自分が消えないで残っています。それが音になって聞こえます。自分のことをちゃんと抱えたまま、その上で自分を開かなければこの母音を話すときの重心が定まりません。重心が下に落ちてしまうケースは日本人に多いというのが印象です。

### 様々な「あ」の症状

レッスンしているといろいろな「あ」に出会います。口を全方向、つまり左右対称、上下、それから口の奥と前、それらのどこもゆがめないで開く母音の「あ」のどこで、どんなつまずき方をしているのかに『その人』が現れてくるのを感じます。

他によくある例は頭脳を使って距離を持つタイプの方です。頭を使って一步距離を置くと、人は批評に偏りがちです。そして批評はよほど気をつけないと批判に傾いていきます。自分の目にするもの、自分と関わるものを絶えず批判する。対象と距離を置きすぎるようになるので、これはやはり「あ」の母音に現れてきます。

対象と距離をとる。これは実は相手から距離を取っているようですが、そのまま自分との距離の現れです。何をしても距離があって熱くなれない。その場合も「あ」の母音に現れてきます。この場合言語造形家としての私にはどんなふうに「あ」が聞こえるのか、その印象をことばにしてみます。(ふだんは会話の内容を聞いているので、違う聞き方をしています)

言語造形家として言葉を聞いていると事実として体があり、その人が世界にそれだけの場所をとっていることがリアルです。距離がある人の場には、その人が二人いるように見えます。自分の体の後ろにもう一人自分が棲息しているようです。そしてこれが肝心なことなのですが、そのせいで体を動かさきれないでいることがわかります。体はそこにあって世界に対して容積をとっているのに、その容積よりも小さな「自分」しか体の中に入っ

ていない。だから体が動ききれない。そして体は困っている。そんな風に見えます。

### ひとつひとつ、実践してこそ面白い

このように自分が無意識にしていることが現れるので、母音を変えるのはとても難しいです。スポーツのフォームや重心のかけ方など、体の使い方を変えるのは大変という体験、みなさんありませんか？ プロの選手でも大変な努力が必要だと聞きます。それと同じように母音も簡単には変わりません。「あ」には身も心も柔軟であることと、かつ肉体の重心をしっかりキープすることが必要です。それができないと母音の「あ」に現れてきます。どこが、どんな風にできないのか。それを見ていくうちに、一つ一つ明るみに出でてきます。「人は「A」(あ)からすべてを学ぶ」シュタイナーの文章はカッコよくて、そうだと直感でわかるかもしれませんが、一つ一つ実感、実践していくと、たくさんの贈り物をしてくれます。そうして初めて意味をなすのがアントロポゾフィであり、生きることなのだと思うのです。

### ~~~~~言語造形人間学について~~~~~

言語造形人間学は恵矢のオリジナルの造語です。シュタイナー夫妻の始めたことばの芸術、言語造形を20年間実践し、ことばの音(子音、母音)と身体や動き、意識との関係、人間の成長との関係などを研究してきました。お話を教えること、オリジナルの言語造形練習文を個人レッスンで各自に適応することで、その確実さを確認してきました。言語造形人間学は、シュタイナーの言語造形の精神が結実したものです。ヴォルテのレッスンは、言語造形人間学に基づいて行われます。またヴォルテの上級クラスでは、集中講義としてその理論の講義を受けることができます。

### 気質はなんのため？

特にシュタイナー教育で重要な要素である「4つの気質」みなさんをご存知ですか？

シュタイナー以前に、すでに気質の考え方はありました。ヨーロッパの伝統ともいえるこの考え方を、シュタイナーは緻密にかつ深く発展させました。土、水、風、火の四大と、人の肉体、エーテル体、アストラル体、自我の4つの身体が対応しています。

通常4つある気質のうちの、一つか二つが、強く働いています。

それが物の見方や捉え方、行動パターンのように、ひとりの人が存在しようとするときに現れる型のように存在しています。憂鬱質、粘液質、多血質、胆汁質の4つです。

人を4つに分けると考える人もいらっしゃるでしょうが、気質は実はひとりひとりを見るためにあります。だって人間だれしもが非常に偏っているわけですから、なかなかほかの人をそのままに見られません。自分が赤い色眼鏡をしていたら、黄色は黄色には見えませんよね。見えないだけではありません。なによりも黄色を黄色のように感じない。そうすると本当に黄色がわからなくなります。いやだという気持ちだけになってしまう。見ることそのものができなくなります。

気質のワークショップをお願いされて、打ち合わせをしたときのこと。最後に少しざくばらんなお話になったとき、質問ができました。「義母が度を越した多血なんですけど、どうしたらいいでしょう」というものでした。お話を伺ううちにこの方が憂鬱質だから、よけ

いにお義母さんの多血を度を越したと感じていることがわかりました。

お義母さんはおそらく普通に多血なのでしょう。多血の人の気まぐれな言葉に、この方は一つ一つをまじめに受け取って振り回されてしまうのでしょうか。たとえば「○○しようかな?」「いいわね、それ、今度一緒に行きましょう」などを、一つ一つ真面目に受け取って、振り回されているようです。だからこそ、気質は助けになります。自分は憂鬱質をもっている。それがわかっているならばお義母さんの言葉を一つ一つ重要にとりすぎているとわかります。二回も三回も言ってきたら、その時改めて検討するくらいでちょうどいいかな?などの、バランスがとれます。

多血の人がすぐに「いいわ」「したい」という「度を越した」という形容詞は、きっとこの方が憂鬱質なために、普通に多血質の人を見ても度を越したように感じるのでしょうか。こんな風に気質は自分を知るため、相手を知るために、つまりより良いコミュニケーションのための大きなヒントになります。ヴォルテの講座では、気質を入り口にしてお一人ずつに迫っていきます。

#### **泣かないで、お母さん！ vol.1～サイトのブログより～**

下の子が生まれてなんだか遅刻ばかり！なんかうまくいかない！というお母さん、ぜひ読んでください！

#### **時間に追われる私たちと 時間の中にいる子どもたち**

私たちは普段、何時にはどこそこへ行かなければと時間に追われる身です。子供たちはそんなことはお構いなしに、水たまりで遊んだり、目の前にあるものをじっと見たりしています。遅刻ばかりで、というお母さんもいらっしゃると思います。

でもね、お母さん。子育てって誰でも最初は初めてですよ。時間の配分が出来ない時期だってあります。こちらにはわからないこだわりがお子さんにはあって、急いでいる時に限って、バギーは嫌だの、バギーがいいだの、いろいろ言って家を出る時間が遅れたあげく、こっちの道がいい、と回り道しようとしたり、それを阻止したら、セミを見てる。幼稚園に遅れちゃうのに！と泣きたくなるお母さんもいらっしゃるでしょう。

でもね、泣かないで、お母さん。遅刻したって構いません！と私は思うんです。お母さんが泣きたくなって、お子さんにあたって、となるより、いいと思うんです。だって、そんなときはもう間に合わないですから、腹をくくって、遅刻していいんです。園の先生に叱られたら、おうちに帰って、泣いてください。怒ってください。「まったくもう！遅刻くらいで怒ってさ！」と。「くやしい～」と。人生はトライ&エラー。子供に当たらないでいいですよ。そしてここで終わらないでください。すっきりしたら、していただきたいことがあります。

#### **時間の流れを見る**

そんなお母さんには、時間の流れを見るということをおすすめします。ご自分の時間の配分と、お子さん一人一人との時間の配分が違うんですね。特に下のお子さんが生まれて、お二人の小さなお子さんを抱えているお母さんがた、ご自分、上の子、下の赤ちゃんの3

人の流れをあわせるのはとても大変なことです。赤ちゃんが生まれると、なかなかスムーズには動けないですよ。

### 10分でできます

今日の夜、時間をとってひとりで、10分していただきたいことがあります。

3人の時間の流れを見ていただきたいのです。

### 赤ちゃんの時間、上のお子さんの時間の流れを見る

赤ちゃんの授乳、おむつ替えの時間の流れの特徴、上のお子さんがどんなときむずがるのか、わがままを言っている（ように見える）とき、それはどんなときだったのか、思い出してみてください。

### 自分のことを忘れない

そして、これが大事です。ご自分はどんなお子さんでしたか？遅刻して怒られたことなんてないお子さんだったのか、しょっちゅう遅刻していたのか、ご自分が子供だった頃のことを少し思い出してください。何か気づくことがあるはずですよ。

### 次の日は時間配分を考える

そして次の日。これも10分でできます。時間のスケジュールをクールな頭とする時間を次の日にとる。これが大事です。これを何回か繰り返すと、違ってきます。

### 他の人と話す

もうひとつ、ママ友と「どうしてる？」と話すことでも、違ってきます。中にはここで紹介した10分静かになって考えることを自発的にしている方がいます。そういう方と話ができると、ゲーテの言葉通り「光よりも素晴らしいものは？/対話」という対話が出来ると思います。

### 腹を据える・心を決める そのための時間

ここで紹介したことは、これからの子育てで必要な時間の使い方です。いろんなことが子育ての時間には起きます。嬉しいこと、楽しいこともいっぱいありますが、心が真っ暗になったかのように、悩むこともあります。その時に、お子さんが小さい時、時間の流れを見る、というこのエクセサイズをしていると、「心を決める」「腹を据える」ことができます。そうすると、お子さんや状況が違って見えてきます。

### 言語造形人間学 風邪をひきづらくなる音！

冬ですね。テレビでも熱には〇〇、なんてCMが流れています。実は風邪予防の言語造形練習文があります。足で地面を蹴りながら「か」という。これを4-5回してみてください。

小さな子供が地団太踏んでますよね。あれを叫ばずにするイメージです。

風邪にはあ、ひきそうだなあという前触れの、さらの前触れみたいな状態がありますよね。忙しかったり、仕事が溜まっていたりしてちょっと睡眠不足かなあ、なんか調子がよくなってきたなあ、という状態。この時にしてみてください。けっこう効きます。

Kの音には、構造をはっきりさせる力がある (by Rudolf Steiner)

本質的なことと、非本質的なことを分けてくれる。つまり、大事なことと、そうでもないことを、瞬時にパッと分けてくれる。足で地面を蹴りながら「か」という。

これを4-5回してみてください。何かしながら、ではなく、風邪ひく前の前の段階だなあ、何が大事かしっかり見極めよう、とってからなされると、効果は一段と増します。

Kにはほかにも効果があるので、体験クラスでこのレッスンを取り上げる予定です。

## **一年を振り返る**

この一年、どんな年でしたか？ 年末恒例の記事一年を振り返る。ここでは「残響を聴く」「印象を耕す」というヴォルテのメソッドを紹介しします。今回は少しアレンジが入り、振り返りながら目印を付けるレッスンをご紹介します。

### **印象を振り返る**

自分がしたことをざっと振り返ってみてはいかがでしょう？ 年末はみなさんもお忙しいでしょうから、できれば今がオススメです。手帳をめくりながら、春はこんなことをしたなあ、こんな気持ちだったなあ、夏はこんなことを考えていたなあと目印をつけるようにざっと振り返ってみてください。電車の中でもいいと思います。そんなに改まって大げさに時間をとれなくても大丈夫です。手帳を見ながら振り返ってもいいですし、季節ごとに振り返ってもいいです。週末にお時間が取れない方は、細切れの時間を使って、ちよくちよくしてもいいと思います。ただここで一つだけ注意があります！ この一年、大変なことが起こった人、例えば職を変えざるえなかった。近い人が亡くなった。闘病生活に入った。大きな体験ですから、お家で、時間のある時、誰にも邪魔されない守られた状況で振り返ってください。

思い出したり、考えたりわざわざしなくても、ついついそのことを考えてしまうような体験をした方は、あえてここで書く事をなさなくていいです。ここで書く事は、大きなことが起こらなくて日常に埋没してしまいそうな時のため、と思って下さい。

### **振り返るのが辛い時**

ちなみに、振り返るのが、辛い時には振り返る必要はありません。「やろう」と思えた時に落ち着ける場所で、1時間、時間をとってからするのが一番です。

### **例えば近親者が亡くなった時、**

「ああ、そうだった。最初は慢性の糖尿病だったんだ。それが節制しないまま、どんどん合併症になって、目が見えにくくなって、それでも一つも不満を言わなかったなあ。でも私はそれを見ていながら見ていなかったんだよなあ」という具合に思い出す。それが出来る時にする。すると悲しかったことも、こころの叡智に変わります。

### **出来るかわからないとき**

ご自分で出来るかどうか、判断できない場合は、それは出来ない時期のことが多いです。もしも出来ればそれはしかし、大きな大きな行為になると私は思います。ただ、それには時期があるんですね。人生にはいろいろな時期があって、思い出せない、自分がどこにいて何をしているのかもわからない時期もあります。ずっと同じ時期、ということはないですから、どんな状態も必ず変わって行きます。そうやって一枚一枚、薄皮をむくように入って進んでいく。終わらない夜はありません！



## 印象を耕す

さて、印象を振り返るといって大げさですが、心のお掃除をしていると考えていただければいいと思います。ちよくちよくちよこつとそうじして、年末には大掃除。だから大仰に考えずに、構えずに、ちよこちよこ思い出して振り返ってください。このとき大事ななのは、感情的にならないこと。そのエネルギー、もったいないです。感情は大きなエネルギーなので、泣いたり怒ったりしてしまったとしても、もうひとりの自分があるのを忘れないでください。泣いている自分とは違うもうひとりの自分がいて、その人が出来事を見ている、感じている。それが印象を耕すことです。残響を聴くとも言っています。

### 自分のために1時間とる

少し静かな時間を取れるときには、是非こんなことを試してみてください。すでに何回か細切れに思い出したり、振り返ったりしていれば、思い出しやすいです。私は「絵巻物を作る」と言っているのですが、大きな紙に、絵が好きな方は絵を描いてもいいですし、一言でいうと「焦りの春だった」とか「もがきの春だった」と言葉に置き換えてもいいです。体験を絵巻物に書いていって下さい。そうやって体験を自分の表現へ、変換をしてみてください。目印みたいなものです。自分の生きた一年に目印をつける。「あっ」という間だった、といって過ぎ去らせてしまうのではなく、自分で振り返ってみて、こんなだったなあ、と目印をつけていく。旅行に行つてそれを自分なりに整理するのと同じですね。

### 贈り物が現れる

目印をつけていくと自分のテーマが自然とわかります。自分のことって、わかっているようで、わからない。でも静かな時間に耳を傾ける、感じるができることと答えは自分の中にある。自分はこんな疑問を持っているんだなあ、こういうことをテーマに来年は生きたいと、今は自分はこんな所にいるんだなあ。来年はちょっとこうなるかな。こうしたいな。という具合に、自然とテーマ、疑問、問いが浮かんでくると思います。贈り物といってもいいですね。振り返るだけで、来年という時間を感じることができます。

自分を感じる時間をとると、いろいろなことがわかります。

本当ですよ。ぜひ試してみてください。

## ヴォルテニュース

おかげさまでヴォルテは来年で設立 20 周年を迎えます。2013 年の秋から専用のスタジオを初めて構えました。駅から近くて言葉に集中できる空間になっています。朗読ライブ PIECES、大人のための朗読会、など催し物があります。ぜひ一度遊びにいらしてください。

### 1 2017 年 5 月新規スタート！体験クラスのご案内

気軽に言語造形に親しんでいただくために、WORTE にも 1 回あたり 5,000 円の体験クラスが誕生します。

#### 水曜夜ポエトリークラス 19:00-20:45

最初の 40 分ではニュースレターでご紹介している言語造形練習文を実際に体験していただきます。読むだけでも楽しんでいただけるよう書いておりますが、やはり実際にしてみる

とわかることがたくさんあります。体もホカホカしてきますし、心にもスイッチが入ります。短い休憩をはさんで、後半は詩の発表です。ご持参していただいた詩をお一人ずつに朗読していただき、みなで感想をシェアします。もちろん私もコメントいたします。

夏クラス 5月17日 6月21日 7月19日

冬クラス 9月20日 10月18日 11月15日

#### 木曜午前絵本クラス 10:30-12:15

最初の40分ではニュースレターでご紹介している言語造形練習文を実際に体験していただきます。短い休憩をはさんで、後半は絵本タイム。大人が絵本を楽しむ時間でもあります。絵本を、みなで楽しみましょう。ご自分の大好きな絵本をお持ちください。

絵本の読み聞かせのコツをお伝えしてから、ペアでレッスンをすることで、絵本の読み聞かせがグーンと上達します。そしてみなの前で発表です。絵本を囲む素敵なひとときを大人で過ごしましょう。ご自宅で、お子さんに読む絵本の時間がぐっと変わるでしょう。ストーリーテラーとして活躍中のヴォルテアシスタントティーチャー（現役保育士）のお子さんへの声かけなど、アドバイスを受けることができる回を設けます。

夏クラス 5月18日 6月22日 7月20日

冬クラス 9月21日 10月19日 11月16日

○各クラス一括 16,200円（税込み3回分）単発参加は 5,500円（5,940円）

#### ～WORTEの体験レッスンアンケートより～

☆刺激だらけのレッスンでした。聞き漏らすまい見逃すまいと、本当に夢中になりました。あっという間でした。お話も実技もとても楽しく、充実した時間でした。

#### 2 新規ご入塾のご案内 ～定員に空きができました！～

ヴォルテで学んでみませんか？ 言語造形をベースにストーリーテラーを育成する本格的なクラスです。現在若干名の空きがあり、2017年1月からすぐにご入塾いただけます。今まで学びたいと思っていた方は思い切って飛び込んでみてください。曜日は日曜午前、日曜午後のいずれかになります。日程など詳細はお問い合わせください。入塾条件は今までにヴォルテのワークショップ、おさらい会などで恵矢のレッスンを体験したことがあることです。12月のおさらい会「お話小箱」も対象です。

#### 3 レインボーシリーズ第1巻 『修行のためのガイダンス』 定価 1,200円

ご希望の方はヴォルテまで。以下の方法でご入手いただけます。

- ① ヴォルテのおさらい会、ことばの小箱などのワークショップで直接販売
- ② 5冊以上から郵送いたします。（同じ種類のもの5冊以上）10冊以上は送料無料
- ③ バザー、店舗などでの販売の場合は仕入れ価格でお分けします。

10冊以上10冊単位。10冊につき、1冊の見本がつきます。

#### 4 ヴォルテスタンスについて

ヴォルテのレッスンには3つのこだわりがあります。本科は6名の少人数定員制。1コマの時間の長さ。そして見学や体験レッスンを講座に混ぜないことです。一人ずつ毎レッスン順番に当たり、コメントを受ける講座なので定員6名が最大です。1コマが最低2時間半と長いのは、声を出すことが体を使うレッスンだからです。体が温まるのに1時間必

要です。しっかり変わるためにはそのあとの時間が大切になります。総体的に受講者を支えていくため、講座の構成も講義の時間、グループワーク、ペアワークと種々のレッスンで構成しています。見学や体験入学をしていないのは、受講者が安心して学ぶ雰囲気を守るためです。そんなヴォルテのレッスンを体験したい方は、毎年12月第一週の日曜日開催のおさらい会へ、どうぞお越しください。見学の方も含めて全員で簡単なヴォルテのレッスンを体験するコーナーがあります。

#### 4 出張レッスン

出張レッスンいたします(1コマ48,600円~64,800円税込み)1996年に言語造形家になってから、さまざまところで研修を担当してまいりました。(下記リスト参照)今まで外部での研修を控えヴォルテで大人の育成に集中してまいりましたが、レッスン体系の土台も実りを迎えました。再び出張レッスンでお伝えしていきたいと思っております。詳細はケイヤスタジオまでメールでお気軽にお問い合わせ下さい。スケジュール調整がありますのでどうぞ早めにお声をおかけください。

シュタイナー教育専門大学(ハンガリー)、オイリュトミー学校で言語造形(ハンガリー)、ビンゲンハイムの生活共同体(ドイツ)、上松恵津子さんオイリュトミー養成第1期生、吉澤明子さん芸術療法士養成クラス、学校法人嶺町幼稚園、学校法人東江寺幼稚園、保育園モモ、児教育者育成等

#### 初めてお手に取られた方へ

講座に来ることができない方もいます。そういう方のためにニュースレターを無料で書いています。年に2-3回の発行で、お店や学校、知り合いに主に手配り配布をしています。次回もお読みになりたい場合はお手数ですが3-6か月後に同じ場所を覗いてください。幼稚園など団体には20部以上から個人の方には5部から無料でお送りしています。どうぞ、お気軽にお申し付けください。

#### 恵矢(言語造形朗読家・詩人)プロフィール

18歳で単身渡独。スイスドルナッハで朗読・演劇・教育の部門で言語造形家のディプロマ取得。ハンガリーで私立教育大学等に勤務後帰国。1996年ことば塾WORTEを設立。歷程同人 2016年 第一詩集『DANCE AGAIN』 2017年 Root Leebの『HERO』(ドイツ現代小説)の翻訳と言語造形の本が出版予定

#### 子どものお話し会&大人のための朗読会

WORTEのストーリーテラーが幼稚園、図書館など皆様のもとへお話を交通費程度で出張いたします。(関東に限り)大人用、子供用のお話し会、手あそび、라이어などとの組み合わせも。詳しくはお問い合わせください。



## 「ヴォルテおさらい会 冬のおはなし小箱」2016年12月4日(日)

10名前後の精鋭たちが大人のみなさまにお話をいたします

全員参加の体験レッスンで WORTE のレッスンを無料で体験していただけます

会場 溝の口駅徒歩5分 てくのかわさき 5階 和室

時間 open13:15 start 13:30 無料 お申し込みは不要です

体験レッスンコーナーがあります 18歳以上の大人対象



## 大人のための朗読会 追加公演決定！ 12月10日(土)

～あなたに、心揺さぶるお話しを～

WORTE の上級ストーリーテラー（井口恵、堀井日出子、長谷川裕美）のお話し会  
しあわせのハンス 踊って踊ってぼろぼろになった靴 イワンと子馬  
キーボード 岩倉さと子さんをお迎えします ゲスト出演 恵矢

みなさん、こんにちは！ 恵矢です。  
ニュースレター復刊のご要望を受け、復刊いたしました。ありがとうございました。  
みなさんにとって今年はどうな年でしたか？  
私は今年ようやく勇氣を出して、第一詩集を出版することができました。人生、いいことあれば、悪いこともありますね。今年もそうでした。ブログ更新、毎週、続けてまいります！  
おかげさまでヴォルテも設立二〇年、尾山台にスタジオを構えて三年がたちました。昨年始めた朗読ライブシリーズ PIECES では毎回異なるアーティストとコラボをし、刺激をいただいております。是非スタジオに遊びにいらしてください。来年五月からは言語造形を気軽に体験していただける体験クラスを開講します。  
どこかでお会いできることを祈って。  
これからもよろしく願いいたします。



<http://keiya.com>

facebook ことば塾 worTE

### ことば塾 WORTE (ヴォルテ) & ケイヤスタジオ

〒158-0082 東京都世田谷区等々力5-6-8 ツジビル302号

URL <http://www.keiya.com> Mail: [keiyavoices@gmail.com](mailto:keiyavoices@gmail.com)

毎週ブログを更新中！ FACEBOOK ⇒ ことば塾 worTE (小文字) で検索！

無断掲載・転載は硬くお断りいたします